

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

“我が家の
育児男子”部門

菰野町

おおつか ゆうすけ

大塚 裕介 さん

推薦者 大塚 麻衣さん(妻)

育児対象 子ども(1歳)



推薦文…

我が家の家訓は「早寝・早起き・夕ご飯」です。夜はぐっすり眠って、朝から元気に活動すること。そして、夕ご飯はみんなで一緒にしっかり食べることを大切にしてきました。そんな我が家に2人目が授かったのは今年の1月でした。2人目に喜び間もなく、私はひどいつわりがはじまり、長男は1歳を過ぎたばかりで、まだまだ甘えたい盛り…。やらないといけないことはたくさんあるのに身体は言うことを聞いてくれず、気が付けば我が家の家訓は忘れ去られ、私は長男に対してイライラしてしまうこともありました。

そんな時にうちの夫は1時間の早出勤務を始められました。朝は朝食を準備してから出勤し、夕方5時には帰宅、夕食作りに、お風呂に洗濯と大活躍してくれています。1時間早く出勤すると朝ご飯と一緒に食べられませんが、はさみや電子レンジをうまく使って手早く朝ご飯を用意しておいてくれます。夕食は18時に家族そろって「いただきます」ができるので、楽しい夕食の後でも余裕を持って寝るまでの時間を過ごすことができます。

1時間勤務時間をずらしたただけなのに、夫と長男の距離は大きく縮まりました。仕事から帰った後は一緒にご飯を食べてお風呂に入り、一緒に布団に入ります(時には夫が先に夢の中へ…)。夫は「最近健

康になった」と話していますが、子どもの生活リズムに合わせることで、子どもと一緒に過ごす時間が増えるだけでなく、大人の負担も減っていくことが分かりました。夫の育児参加で余裕が生まれたことで、私自身の精神的負担も大きく減りましたし、その結果、家族で笑う時間も今まで以上に増えたように思います。

「子どもの生活リズムに大人も合わせて生活をする」2人目ができてもこれを大切に家族みんなで協力して子育てに励んでいきたいと思っています。

審査員共感ポイント

- 審査員一同、「早寝・早起き・夕ご飯」のフレーズに共感！育児で実は一番大切で、子どもに教える一番重要なポイントをご夫婦で共有されている部分がステキ！
- 家庭のリズムをつくることで、仕事にもリズムが生まれ、何をするにもうまくいきそう。子どもはとっても素直だから、お父さん大好き！と大きくなって家族を大事にできるお子さんになりそう。